



総務省 平成29年度事業
若年層に対する
プログラミング教育の
普及推進 in 沖縄

プログラミング教育は、あらゆるモノがインターネットにつながるIoT社会において、論理的思考力や課題解決力、創造力等の育成に資するものである。

このような意義を有するプログラミング教育を全国に普及するため、総務省では平成28年度より、「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業に取り組み、地域の人材やクラウド上の教材等を活用したプログラミング教育実施モデル(以下、「実施モデル」という。)の実証を進めてきた。

本事業では、障害のある児童生徒もプログラミング教育を円滑に受けられるように、個々の障害の状態や特性に応じた実施モデルの実証を行うものである。

誰が教える
の？

どうやって
教えるの？

これからの時代、インターネットが必須！
プログラミング教育はとても大事！

もちろん、障害のある人にとってもね！



学校の先生・パソコン教室の先生



メンターを育てよう！

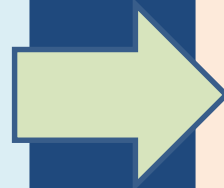


プログラミング教育とメンター

プログラミング言語を使用した
プログラムを記述する能力の習得が
目的

学習者はサンプルプログラムのコード
をそのまま再現

学習者全員が同じプログラムを作成
することを目標とした指導



プログラミングを学ぶ事を通して、**論理的思考力や創造力を習得する事**
が目的

学習者は自分でやりたい事をプログラ
ミングでどう実現できるか工夫

学習者がやりたいことを実現するた
めの方法を示して支援する指導

◆メンターの役割

子どもたちがやりたいこと・実現したいことについて、どのようにプログラミングするか、様々な方法を提示して**子どもたちの活動を支援**する役割です。

メンターとして学んで欲しいこと

- ・子どもたちの活動を支えよう
- ・プログラミング、コンピューターの楽しさを伝えよう